

第2章 ボールルームダンス文化振興の課題

1. 生活文化としてのボールルームダンスの確立

(1) ボールルームダンスの本質的な価値への気づき

ボールルームダンスが、生涯スポーツとして確固たる地位を得、生活文化として自立し暮らしにおける教養として成熟するためには、その本質的な価値と文化的特性への気づきを尊重することが求められる。

リズムカルな動きの連続による踊りの共有の楽しみを基調にして、パートナーとの豊かな人間的交流を享受するボールルームダンスの本質的な価値と文化的特性は、一般市民はもとより、熱心な愛好者においても必ずしも十分に理解され、浸透しているとはいえない。

ボールルームダンスが、21世紀の市民生活の諸要請に応え、諸課題の解決に貢献し、生涯スポーツとして確固たる地位を得、生活文化として自立し、暮らしにおける教養として成熟していくためには、多くの人々がボールルームダンスの有する本質的な価値とその文化的特性に気づき、それを尊重することが求められる。

(2) ボールルームダンスの文化的享受モデルの開発

ボールルームダンスを生活文化として確立するには、文化的享受モデルの開発が望まれる。このモデル開発は、世界的視野と地域性に配慮しつつ、これからの市民生活におけるさまざまな要請や課題に応えるものであることが求められる。

ボールルームダンスを、誰もが暮らしのなかで気軽に享受できる生活文化として確立するためには、どのようにそれを楽しむのかという文化的享受モデルの開発が望まれる。

ヨーロッパにおけるボールルームダンスが、生活文化として確立しえたのは、それが民衆文化の伝統と結びついていたこととともに、上流階級のなかに暮らしのなかでボールルームダンスを享受するモデルが存在したからでもある。しかし、残念ながら我が国のボールルームダンスは移入文化であり、そうしたモデルは存在しない。したがって、ボールルームダンスを市民生活における生活文化として確立するためには、その文化的享受モデルの開発が求められるのである。

このモデルの開発においては、世界の文化というグローバルな視点とともに、我が国における民衆の踊りという地域的な視点をもつことが大切である。そして、暮らしのなかに潜む人々のダンスへのエネルギーを活性化するとともに、これからの市民生活とライフスタイルにおける諸要請と諸課題に応える多様性と柔軟性を有することが求められよう。

(3) ボールルームダンスの基礎的学習

ボールルームダンスを生活文化として享受するには、その本質的な価値と文化的特性についての学習が重要であるから、基本的な事柄については学校教育において尊重することが望まれる。

生活文化としてのボールルームダンスを享受するためには、市民的教養としてのボールルームダンスについての学習が重要となる。この学習においては、ボールルームダンスとの生涯にわたる親しい関係の基礎を培い、その品位を保持するための本質的な価値への気づきとその文化的特性の理解が大切になる。

この学習の場と機会の設定は、さまざまな条件に対応することが求められるが、共通する基本的な事柄については、学校教育において尊重されることが望まれる。これからの市民生活とライフスタイルを考えると、暮らしにおける文化享受のための基礎的能力の開発は万人にとってきわめて大切なことだからである。

(4) ボールルームダンス享受能力の開発

ボールルームダンスはきわめて広く深い内容をもち、より豊かな楽しみを導く大きな可能性を有している。この豊かな文化的可能性を開くためには、多様な人々の自己実現の欲求と学習意欲の向上を導く享受能力の開発が求められる。

世界文化にまで発展しているボールルームダンスは、レジャーあるいはレクリエーションとしての性格を有するとともに、芸術あるいは競技にいたるまで、きわめて広く深い内容を有している。ボールルームダンスのこの多様性は、それが、幼児から専門家にいたるまで、誰にでも受け入れられる魅力と意味を有することを示している。

したがって、生活文化としてのボールルームダンスは人々の多様な水準に柔軟に対応し得ると同時に、自己実現の欲求と学習意欲を高め、より豊かな楽しみへと導く大きな可能性を有している。芸術や競技としてのボールルームダンスは、こうした享受能力のモデルを開発するという意味において、極めて重要な意味を有している。

この意味から、ボールルームダンスはその本質的な価値の気づきと文化的特性の理解を基調にして、競技者を含めた多様な人々の自己実現と学習意欲の向上を導く享受能力の開発を工夫することが望まれる。

2. ボールルームダンスの文化的地位の向上

(1) より開かれた世界へ

ボールルームダンスの文化的地位を向上するためには、ボールルームダンス界はより開かれた市民的世界へ脱却し、「みんなの文化」として、その価値と魅力を市民社会へ広げていくことが求められる。

風俗営業法の対象とされてきたことに象徴されるように、文化的偏見と蔑視の圧力のなかで、我が国のボールルームダンス界は、その意義と魅力を知る特定の人々によって、しらずしらずのうちに閉鎖的な世界の構成を余儀なくされてきた。そのため、ボールルームダンスの文化的意義と価値の理解は、専門家集団の範囲に押しとどめられてしまい、一般的な市民生活においては、いわゆる無節操な社交ダンスのイメージがなお強く残っている。

21世紀の市民生活におけるボールルームダンスの文化的意義を考えると、その文化的地位を向上することは、きわめて大きな社会的課題である。そのためには、ボールルームダンス界をオタク化・マニア化から脱却し、より開かれた市民的世界にするとともに、ボールルームダンスを「私たちの文化・みんなの文化」として自覚し、その価値と魅力を市民社会に広げていくことが望まれる。

(2) レスペクタビリティ（品位）とポピュラリティ（人気）の両立

ボールルームダンスの文化的地位の向上には、文化的偏見の払拭が不可欠である。そのためには、いたずらにポピュラリティ(人気)を求めるのではなく、尊厳ある文化としてのレスペクタビリティ(品位)を遵守することが求められる。

ボールルームダンスを「みんなの文化」として位置づけ、市民社会においてその普及と振興を図ることは、ボールルームダンスの文化的地位の向上には不可欠である。しかしその努力は、ただ単に、一般的で表層的なポピュラリティのみを追求するものであってはならない。我が国のボールルームダンスは、男性の一時的ななぐさみごとという不健康なイメージを有しており、これを払拭するには、なによりも尊厳ある文化としてのレスペクタビリティが求められるからである。

したがって、ボールルームダンス界には、人気拡大のみに焦点を絞った一過性のブーム創出を求めるのではなく、「パートナー間の相互理解と相互尊重の精神にのっとり、定められたフレームに沿ったリズムカルな動きの共有によるコミュニケーションと表現の楽しみ」という、その本質に基づく根気強い普及と振興によって、ボールルームダンスの文化的地位の向上に努めることが望まれる。

(3) 国際的市民交流の促進

ボールルームダンスの文化的地位の向上には、その享受モデルを開発するとともに、国際的な市民交流を促進することによって、世界から積極的に学ぶことが求められる。

ボールルームダンスの文化的地位向上のためには、レスペクタビリティの遵守が必要である。そのためには、市民生活における品位あるボールルームダンスの享受モデルを示すことが求められる。

欧米の市民社会においては、ボールルームダンスが品位ある生活文化として確立されている。こうしたボールルームダンスの楽しみに触れ、それと親しむことは、我が国ボールルームダンスの文化的地位向上にとって大きな意味をもつ。

したがって、我が国においては、品位ある文化的享受モデルの開発とともに、世界の多様なボールルームダンスと触れ合う国際的市民交流を積極的に促進することが望まれる。

(4) 文化的意義の啓発とボランティア活動の推進

文化的地位の評価は、人々の公共的意義の理解と関係者の社会的評価に依存する。したがって、ボールルームダンスの文化的地位を高めるためには、その意義を広く市民社会に啓発するとともに、積極的なボランティア活動を推進することが求められる。

どのような文化であれ、文化的地位の評価は、その文化がもつ公共的意義に対する人々の理解に依存する。したがって、ボールルームダンスの文化的地位を向上するためには、人々にその本質的価値の気づきと文化的特性への理解を促すとともに、これからの市民生活におけるボールルームダンスの文化的意義を積極的に訴求していくことが望まれる。

また、文化的地位の評価は、それに携わる人々の社会的評価にも依存する。したがって、ボールルームダンスの専門家や愛好者が、自らその文化的享受モデルを示すとともに、今後の市民生活における課題を真摯に受け止め、例えば、障害を持つ人々や高齢者のボールルームダンス享受を支援するような、積極的なボランティア活動を推進することが望まれる。

こうした市民社会との真摯で積極的な交流を図る努力を通じて、ボールルームダンスは、その文化的偏見と蔑視を払拭し、文化的地位を向上することができるのである。

3. ボールルームダンス組織の整備

(1) ボールルームダンス関係組織の社会的基盤の確立

組織間の相克は、ボールルームダンス文化構築の阻害要因となっている。ボールルームダンス振興という本来の目的を達成していくために、早急な組織の整備が求められる。

我が国のボールルームダンス関係組織は、ダンス指導を職業とする教習所の教師を中心に構成されてきた。このことは、ボールルームダンスの健全な普及と振興という理念とは別に、ボールルームダンス愛好者の市場という側面をも形成することになる。その結果、場合によっては、その市場における利害の相克や特定の間人間関係が組織構成のダイナミズムを支配し、組織の結集力を分散させる危険性をもたらすのである。

組織の多様化は、一面において、多様な人々の要求に応えるという利点があるものの、その反面で、ダンスの共通課題に対する取り組みを不能にし、その社会的パワーを分散させ、ボールルームダンス文化の振興という理念の達成の阻害要因ともなっている。

したがって、ボールルームダンス関係組織は、共通課題に対処するための協調体制を築くとともに、ダンス教師中心の組織構成という枠を越えて、一般市民のボールルームダンス愛好者を含めたより広い社会的基盤を確立し、ボールルームダンス文化の振興という本来の目的にむけた、統合的な組織整備に向かうことが望まれる。

(2) プロフェッショナリズムの確立とアマチュアの特性を生かした組織づくり

“プロはアマの支持を得ながら文化の発展に資するという公共的責任を担い、アマはそれを支援することによって文化享受の恩恵を得る”というパートナーシップの理念に基づいたプロとアマの統合的な組織づくりが求められる。

どのような文化もその発展の帰結として専門化をもたらす。その発展は、アマチュアの広範な支持を得て、専門家としてのプロフェッショナルによって担われることになる。したがって、プロはアマの支持を得ながら文化の発展に資するという公共的責任を担う者であり、アマはそれを支援することによって文化享受の恩恵を得る者ということになる。しかし、いわゆるプロにこの真の意味でのプロフェッショナリズムが欠落してしまうと、利益追求のみを行動原理としたコマーシャルイズムが文化を支配することになる。スポーツの世界においては、アマチュアリズムを盾にしたプロに対する階級的蔑視があいまって、プロとアマとの組織的な断絶が生じ、相互不信感が醸成され、増幅されてしまうケースが少なくなかった。

こうしたプロとアマの組織的断絶と相互不信は、ボールルームダンスを文化として成熟させるうえでの大きな阻害要因になる。したがって、ボールルームダンス界においては、プロがコマーシャルイズムに墮することなく、真の意味でのプロフェッショナリズムの理念に基づいて、ボールルームダンスの文化発展に貢献することによってアマの広範な支持を獲得するとともに、アマはプロに対する階級的蔑視を拭い去り、それを支援することによってその恩恵をこうむるといったパートナーシップの確立が望まれる。そして、ボールルームダンス発展のためには、このような新しいパートナーシップを基盤にしたプロとアマの統合的な組織づくりが求められるのである。

(3) 地域住民に支えられた市民組織の確立

ボールルームダンス文化の構築には、アマチュアによる広範な支援が必要であり、生活文化としての意義に立脚した地域的市民組織の確立が望まれる。

プロフェッショナルがボールルームダンス文化の発展を担うためには、アマチュアによる広範な支持と支援が必要である。そして、プロに対するアマの支援が、コマーシャルイズムによって左右されることを防ぐには、市場原理によってではなく、ボールルームダンスの文化的意義に基づく組織化が望まれる。そのようなボールルームダンスの文化的意義の確かなコンセンサスを市民社会のなかに形成するためには、広範囲でしかも緻密な愛好者の市民組織が確立されなければならない。

また、ボールルームダンスが、これからの市民生活における重要な生活文化となり、誰もが手軽に享受しうるものとなっていくためには、それぞれの地域において市民生活にリズムを刻む地域生活文化への高まりが望まれる。

こうしたことから、これからのボールルームダンスには、地域の人々に支えられた市民組織の確立が望まれるのである。